

2023 年度 JOCA-Nara 8 月定例会 & 協力隊ナビ 議事録

「奈良一刀彫のごとく、大胆かつ繊細にそして美しい活動を追求します。」

日時：8 月 26 日（土）18 時 30 分～20 時 20 分

場所：Zoom のみ

参加者：榭井・黒田昌・黒田和

協力隊ナビ参加（安則栄美さん）

議題

1. 協力隊ナビ
2. 2024 年度活動計画策定の方向について
3. その他

要旨

1. 協力隊ナビについて

参加者情報：小学校教師で JICA 参加応募済、筆記試験合格、来週に面接予定。マーシャル諸島、カメルーンを希望している

活動報告者：黒田和 ソロモン諸島 看護師

質疑応答：

①宗教が医療に与える影響はあったか？？

95%がキリスト教（カトリック）のため医療への弊害はなかった。ヒンズー教やイスラム教国では食べられないものやアルコールが禁じられていること、断食の期間は仕事もできない

②親日国であるが治安はどうか？？

現地人の女性と一緒にいれば問題はなかった。アルコールが入ると危険を感じることはあったが。内戦など、国や地域によって状況が様々なため、派遣時点の国の情報を知ることが大切

③食事はどうしていたか？？

自炊や近所の現地人のおすそ分けを食べていた。お金を払って作ってもらったり、レストランに食べに行ったりと様々。国によっては、警備やハウスキーパ的な人材を雇用することを前提としている。

④同じ職種でも活動は違うか？？

同じ看護師でも派遣先が村落開発課で病院勤務ではなく、学校に保健衛生の教育を実施していた。派遣所属により違う。募集時の依頼国の要請事項を確認することを勧める。

⑤JOCV 参加によって心境の変化はあったか？

現地人の素朴さに触れることで優しくなれた、日本の良さを感じられ今の仕事も楽しく続けられている、日本の道を究めることへの精神や日本人の勤勉さ、まじめさは本当に素晴らしと感じる。ただ、帰国後継続して国内での協力隊精神を実行している人は限られている。

⑥派遣前、派遣までにしておくべきこと、持って行った方がよいものなど

任国の情報を得ること（訓練期間中にその機会もある）、語学学習、一人用洗濯機を持っていったがかなり重宝した。（なければ手洗いになる）

また、継続して派遣される部署であれば、派遣中（帰国済）の先輩達とのコミュニケーションも JICA 経由で取ることも可能。

⑦病気はしたか？

空港到着直後から蕁麻疹がでたり、マラリアにかかったり。任国の病気やその予防対策についても学ぶことができるので、心構えを持っておくほうが良い。水は特に注意したほうが良い。など

派遣国にもよるが、特にアフリカではマラリアに限らず多種の病気が存在し、予防策を怠らないように注意が必要。JICA 現地事務所には MC（医療コーディネーター）が受注しているので、連携することも大事。

2. 2024 年度活動計画策定の方向について

- ・計画策定のための魚の骨の見直しを行っていく

2022 年度 キャンプ交流会

2023 年度 スキー交流会

2024 年度 郡山中学校学園祭でマリネラ披露、JOCV 活動の広報としていく予定

- ・郡山中学校学園祭参加の企画書を作成していく

3. その他

次年度以後実施したい事アイデアについて

災害時に JOCA を通じてタオルや毛布の依頼がある際に協力体制をとる

小学校とのコラボ

現地隊員とネットを繋いでの情報共有

（直接メールを送っても返信が無いため JICA 経由にしていく必要があるそう）

次回の定例会

日時：9/23（土）18:30～

方法：Zoom のみ *会長は引き続きインド滞在

議題：

- ・ スキー交流会の企画について
- ・ 2024 年度活動指針について